

地域と連携したコミュニティ交通「山ゆり号」の 10周年記念マスコットが決定しました！

川崎市麻生区高石地区を走る「山ゆり号」は、計画から運営までを地域の住民が担っているコミュニティ交通です。

道が狭く、山坂の多い地域の貴重な足として活躍する「山ゆり号」ですが、令和3年9月に、本格運行を開始してから10周年を迎えました。

そうした中、近隣の県立百合丘高等学校と連携した利用促進を図っていくこととなり、その第一弾として、美術部によるマスコット案の制作が行われ、令和3年7月1日（木）～7月30日（金）にかけて、候補作品6つの中から決定する投票を地域の方を対象として行いました。

全450票の投票の結果、最多得票を集めた、美術部2年 小林 さくらさんが作成した「ユメノミ」が、山ゆり号の10周年記念マスコットに決定しました。

マスコットは、山ゆり号への掲示や様々な広報物等で今後活躍していく予定です。



山ゆり号10周年記念
マスコット「ユメノミ」

「ユメノミ」プロフィール （作成者コメントは次ページ）

【種族】猫

【年齢】人間で例えると幼稚園児くらい

【名前の由来】できるだけで判断する前にたくさんの夢を見て可能性を広げてほしいから

ストーリー

- ・たくさんの人に山ゆりを知ってもらうため、親元を離れて山ゆりを配っている。
- ・おばあちゃんがマフラーを編んでくれて、家を出るときに巻いてもらった。寂しい時にこれを見て家族を思い出す。

■山ゆり祭でのマスコット発表

実施日 令和3年9月25日

山ゆり号の利用促進のため運営委員会が主催する山ゆり祭にて、百合丘高等学校美術部と運営委員会、運行事業者、川崎市でマスコット発表を行いました。



山ゆり祭での百合丘高校による
マスコットのプロフィール説明

(問合せ先)

川崎市まちづくり局交通政策室 藤野 TEL 044-200-2762

ユメノミについて、作成者 小林 さくら さんからのコメント

○ モチーフについて

- ユメノミは、幼稚園児くらいの年齢の猫です。
上から下まで幅広い年齢の方に利用していただくことを考え、どの世代にも親しみやすいキャラクターをつくりたいと考えました。世代問わず好きなものといえば動物であると思い、その中から身近でよく小さな子供が絵を描くときに描かれるような動物を候補にあげて、選んだのが猫でした。

○ コンセプトについて

- ユメノミは個性的というよりも大勢の中の一匹という感じで、親しみやすさを持たせるため、平凡であることにこだわりました。ストーリーには“幼稚園児と同じくらいの年齢で一人旅に出ている”とありますが、この設定が思い浮かんだのは、私たち高校生くらいの年齢を生きる人間が、努力して困難を乗り越えるといったアニメと、小さな子供がお使いを頑張るところをかわいらしく見守る人気のTV番組がきっかけです。
- これらが人気な理由は、“自分よりも年下、もしくは同い年が努力しているところを見ることで、自分も頑張ろうと前向きになれるところ”だと考えました。そしてユメノミにも人を前向きにさせる、夢をもたせることができるようなキャラクターであってほしいと思い、小さい子供でありながら努力する猫というコンセプトが生まれました。
また、名前の由来もここから来ています。



○ デザインについて

- 他にも小さなネタとして、「赤いバッグ」は、昔定番だった“赤いランドセル”を連想させ、懐かしさを思い出してもらえたらいいなと思い赤色を選びました。「マフラー」は、“祖母が編んでくれたもの”とありますが、これは実際私の幼少期に編み物が得意な祖母から様々な編み物をプレゼントされていたので、祖母の世代の方々も孫に何かプレゼントすることは好きだったのではないのでしょうか。